

諏訪市博物館第71回企画展イベント

資料整理報告会 藤原咲平の写真を読む

今年は、お天気博士として有名な藤原咲平（諏訪市角間新田出身）の生誕130周年にあたり、諏訪市博物館では、その一環として、企画展「霧ヶ峰～山・人・空が織りなす文化～」を開催しております。今回のイベントでは、諏訪市図書館所蔵（藤原家旧蔵）の写真資料を使って咲平とゆかりの人々を読み解きたいと思います。

9月7日（日）

午後1時30分～3時

会場 諏訪市博物館学習室

講師 生涯学習課職員

聴講料 無料 申込み不要

（展示見学別途要入館料）

（問）52-7080



カメラを手にする藤原咲平
昭和14年4月

主な内容

- ・藤原咲平の生涯の紹介
- ・咲平と関係の深い新田次郎、寺田寅彦、斎藤茂吉、永田鉄山、牛山清人、メイ牛山などの写真
- ・グライダー関係の写真など
- ・当時の暮らしぶりを窺う家族写真

裏面もご覧ください

① 咲平の胸元には何本かの紐がありますが、これはいったい何でしょうか？



② 咲平が、顔に包帯をまいた写真が沢山あります。どうしたのでしょうか？



藤原 咲平(ふじはら さくへい)

1884年 - 1950年、諏訪市出身の気象学者。旧制諏訪実科中学、旧制一高卒業後、東京帝大理科物理学科入学。大学院を経て、中央气象台に入台。「お天気博士」として親しまれ、生涯のテーマとして「渦」の研究をしました。1940年には第5代日本気象台長(現在の気象庁長官)となり日本の気象行政を牽引しました。咲平の関心は、気象学にとどまらず多岐にわたり、霧ヶ峰でグライダーを始め、日本のグライダー研究の草分け的存在となりました。



③ この中に、咲平の甥で、作家の新田次郎がいますがどの人か分かりますか？

掲載写真は、全て諏訪市図書館所蔵

諏訪市博物館第71回企画展

『霧ヶ峰』

～山・人・空が織りなす文化～

[期間] 開催中～9月15日(月・祝)

[開館時間] 午前9時から午後5時

(入館は4時30分まで)

[休館日] 月曜日・祝日の翌日

[入館料] 一般300円 小中学生 150円

(20名以上一般200円 小中学生100円)

諏訪地域在住・在学の小中学生は無料

[所在地] 諏訪市中洲171-2



霧ヶ峰を飛ぶグライダー(戦前)